

活動報告書

作業日時	2011年10月23日			天候	曇時々晴れ	記録者	渡辺		
場所	地区	天しぼ山	場所						
活動種別	定例活動	○	自主活動	体験の森	特別活動				
参加者	鈴木、五十嵐、茂在、牛山、渡辺 原島 顧問					計6名			
作業内容	現地観察、境界確認、倒木整理								
作業道具	チェーンソー								
	4台								
動力機器	チェーンソー	鈴木、五十嵐、茂在、渡辺							
操作者	刈払い機								
作業の具体的な様子・内容(写真添付可)									
<p>定例活動内容</p> <p>【午前】 今シーズン秋より原島さんの天しぼ山の間伐を行うため現地の状況と作業方針、境界を確認した。</p> <p>【午後】 今後の活動で邪魔になりそうな林内倒木の整理を行なった。</p> <p>天しぼ山 作業方針と計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地地理：略図を添付。地図では表現できませんが根の神沢と同等の急傾斜地。隣地との境界にオレンジテープでマーキング。一部灌木へのマーキングもあるので切らないように注意。浜中氏林地との境界の角には一ぶを2重巻きとしてある。地図上太枠のA~Dが天しぼ杉が植えてある範囲で各エリアの境界印は無し。○A~○C部は他の樹種で特に境界マークなし。樹種と林齢、雰囲気等で判別可能。空部は雪害による空間で空いている範囲。今回の定例活動で倒木の整理は完了しているが傾いた木が残っている。一部地図と作業道位置にずれがあるので、現地のマーク及び樹種の状況を優先する。 ・間伐の方針：枝の枯れ上がりや谷側への偏り、林床植生の未発育等間伐遅れの現象が起きているので間伐を実施する。ただし、形状比大きいので風雪害への耐性を確保した間伐率とする。 ・間伐エリア：全域(他人の林地を除く)。 ・間伐本数：①間伐率は30%とする。(主に天しぼのエリア) ②残す本数の下限値は1200本/ha、6~7本/4m円(天しぼ以外、境界、道沿い等) 30%間伐すると残りが少な過ぎるところは、1200本/haまでとする、ということ。 ・選木基準：選木の優先順位 ①傷(鹿の皮むき、角擦り、等) ②生育不良(劣勢木)、太い方を残す。 ③形状不良(偏り、偏芯、二股等) 上記を優先で同等の木の選木は林地内でのバランス。空間を作ると災害に弱くなるので注意。従って、空間部周辺は既に傾いた木を除いて2列を目処に間伐しない。林道沿い1列も考慮する(片側が無いので4m円で選木すればそれ程切らないはず)。天しぼと他樹種の大径木で選ぶ場合は大径木を残す。 ・伐倒木処理：枝払い、玉切りして立木間に斜面横向きに据え置く(急斜面なので土砂流失、落石防止のため)。切捨て間伐なので玉切り長さは不問。但し、会で活用計画あれば搬出可とのことなので別途相談しましょう。据え置き、移動の際に立ち木を傷付けないように注意すること。 ・注意事項 ①小中沢林道には電線が通っているため、林道沿いはロープ、チルホール等で必ず方向ズレを防止すること。 ②小中沢林道上には登山道があり登山客あり(下見時はかなり多数)。天しぼAエリアの作業時は十分に注意。会作業旗を必ず使用する。 ③広葉樹は作業の邪魔にならない限り切らない。 ④境界付近は、テープ間を見通して隣地に入っていないか確認すること。きわどい場合は手を付けない。 ⑤急傾斜地であること、直径の割に背が高い木であることを考慮の上注意して作業すること。 ・作業順序 ①空間部の傾いた木の処理 ②全域の選木 ③小中沢林道上の間伐 ④下部の間伐(下の旧道沿いから上に向かって実施)。 									
<p>送り事項</p>									

